# 119 1992-5

#### 【特集】

- 01 盲学校はいま〈その危機、その模索〉 水谷昌史
  - ●ルポ●
- 19 視覚障害者の日常生活に直結した情報を送り続ける ロバの会(京都朗読奉仕会)

岩下恭士

- talk to talk•
- 28 情報を送り続けて70年 「点字毎日」昨日・今日・明日 竹内恒之/三上洋
- 41 視覚障害者のレクリエーション 1 [盲人バレーボール]

渡辺文治

50 インフォメーション・コーナ

ISSN 0385-7476

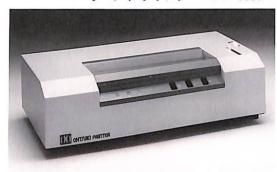
SSK



# 点字と活字が同時にプリントされます。

印刷機能を有し、書類作成・点訳事業に大いに活用できます。

オーツキ・プリンター BT-5000



価格 88万

#### ●特徴

- 1. 市販のコンピューターに接続できます。
- 2. 日、米、英、独、仏、5ケ国の点字がプログラムされています。
- 3. 自動紙幅検出、自動改行が出来ます。
- 4. 点字グラフィックを打出すことが出来ます。
- 5. 用紙(単票、連続用紙可)インクローラの 取付は簡単です。
- 6. 本機はシリアル及パラレルインタフェース の両方を備えています。
- 7. パソコンソフトはAOK、プレイルスター、 灌世、OSトーク 他

オーツキ·タイプライター BT-4000·4000A



価格 123万

#### ●特徴

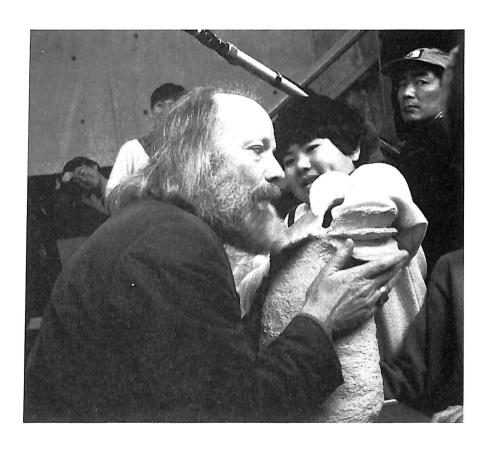
- 点字と活字が同時にプリントされ更に モード切換えで、点字のみ、黒字のみ を打ち出せます。
- キー配列は盲人用カナタイプの配列と 同じです。
- 3. 従来の6点式点字タイプとしても使えます。
- 4. タイプアウトした文章を複数枚コピー をすることができます。
- 5. 用紙(単票、連続用紙可)、インクローラ の取付は簡単です。
- 6. 点字文章だけに使う符号等も自動的にタイプされます。

**アラテクノエイト**(株)東京本社

〒192 東京都八王子市片倉町 3 5 8 番地 TEL 0426 (37) 0591 FAX 0426 (37) 0593

## "芸術の秋"ならぬ"芸術の春"

PART1 鳥たちの声——声のワークショップとパフォーマンス



2月15・16日の手で見るギャラリー・TOM。ドイツのボイスパフォーミング家テォフィルマイヤーさんとTOM賞の鳥たち、盲学校生徒、美術の先生などが繰り広げるパフォーマンス。その声をお届けできないのが残念。

## PART2わたしたちの編んだセーターを見てください



"編物は女のもの, という思い込みは大きな誤りだ。昔から英国や北欧の海の男たちは、漁の合間に編物を楽しむという。糸と針と手の対話によって生まれる一枚のセーターは、いつの時代にも特別な温もりが感じられる。視覚障害者の編物教室「鹿島ニットサークル」の活動は今年で12年目に入った。

### PART3とっておきの芸術祭





こちらは大阪。3月17日から19日、港区の天保山ハーバービレッジ と海遊館を会場にして開かれた障害者芸術祭。音楽・造形・パフォ ーマンスなど、障害者の豊かな芸術を披露。 立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター までお問い合わせください。

#### 編集後記

今回の特集"盲学校はいま"は視覚障害児の重複化、生徒の多様化と減少傾向、職業教育、とあまりに問題がありすぎます。盲大学生に関わる問題や職域開拓などと取り組んでいます本会、日本盲人福祉研究会としてはその根幹をなすものだけに、敏感にならざるをえません。

本号から誌面を一部変更しました。これまでのコラム欄に変わって、ユニークな活動や事業を行なっているグループ・個人等を取材しご紹介します。 今回はバイタリティーそのものの"ロバの会"を取りあげましたが、皆様からの「こんなグループを」という提案をお待ちしております。

今年度も本誌をお引き立てください。

(高橋 実)

視覚障害

1992年5月 No. 119

年間講読料 3,300円(送料とも)

発行日 1992年 5月1日

編集人 高橋 実

(連絡先) 日本盲人福祉研究会

〒166 東京都杉並区成田東5丁目36番15号

電話 (03) 3220-1421

振替口座 東京 6-16103 発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒 157 東京都世田谷区砧 6 - 26-21

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13 電話03(3624)6111(代表)